

令和 8 年度地域連携推進会議 議事録

峰栄会共同生活ホーム

日時：令和 8 年 4 月 11 日（土） 11 時 30 分～12 時 40 分

場所：総合福祉施設さぎの宮寮 北館 1 階ダイルーム

出席者

構成員	備考
利用者	
利用者ご家族	
地域の関係者	元学校関係者
福祉に知見を有する方	元介護保険サービス職員
福祉（障害）に知見を有する方	元障害福祉サービス職員
理事長	
事業所職員	管理者・サービス管理責任者

協議内容

1. 開会のあいさつ・地域連携推進会議の趣旨説明・構成員の紹介

2. 議事

(1) 事業所について

事業所の基本情報や事業内容を説明

(2) 令和 7 年度の利用状況

平均利用者数、稼働率、入退所、入所相談件数、見学対応、体験利用の実施状況を報告。

(3) 利用者の状況

利用者数、障害支援区分、平均年齢と年代別人数を説明

(4) 利用者の日常生活について

グループホームでの過ごし方、就労状況、個別支援計画書、利用者の目標を説明

(5) 職員について

職員の配置状況、支援内容、資質向上（資格の取得）について説明

(6) 取り組み

HEK1990 の取り組みを報告

(7) 令和 7 年度虐待防止研修・身体拘束廃止研修

年間計画を基に実施した研修を報告

(8) 利用者アンケート

事前に行ったアンケート結果の確認、事業所の分析と今後の対応について説明

3. 質疑・意見交換

- ・平均利用者数について小数点が付き半端な数字になるのはなぜか？
→体験利用での数日間の利用や外泊での不在もある。延べ利用者数からサービス提供日数を除して算出している。
- ・家族の立場から、仕事はしっかり続けて、金銭面も含め独り立ちしてほしい。
→就労支援事業所ではないため、仕事内容の直接的な支援は難しい。仕事の悩みや愚痴を聞き、助言をしたり前向きになれるよう声掛けはしている。また、ご本人の訴えに関して必要な場合は、就労支援機関と共有している。他支援機関と連携して支援していく。
- ・会議の構成員について、OB会を行うなど退所者とは比較的良好な関係を築けている。利用者より会議前に「退所した利用者と呼ばば」といった意見が出たため、検討していきたい。
- ・利用者アンケートについて
 - ① 「相談しにくい時もある。」が半数であったことについて
→相談しにくい時もあるという人もいるということを理解してあげること自体が重要ではないか。
→成育歴も様々なことを考えればそういう人もいる。本心はなかなか言えないと思う。すぐに相談できると半々であればよい結果ではないか。
→高齢者では認知症もありこういった質問は難しい。良い質問ではないか。
 - ② 「その他自由記載」について
→「買い物に付き添ってほしい」とあるが、病院受診を毎回付き添ってくれているのでとても助かっている。
今後もし付き添いはしてくれるのか？
→交通の便など難しい場合もあるが、基本的には自分で受診できるようになってもらいたい。本件の受診の付き添いについても、現在は行き来の送迎はしていなく、受診後は最寄りの駅まで送り、駅からは自分で職場に出向いている。少しずつでもステップアップできればと思っている。
 - ③ アンケートを実施したこと自体がよかった。結果も良く、すごいと思う。

4. 事業所見学

- ・のびのびと生活できているようなので良かった。
- ・調理をすることはあるのか？
→本日、会議に参加した利用者については、土日の食事は自分で用意しており、調理をすることもある。構成員より利用者へ「すごい」「えらい」等、声をかけてくれる。